

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		Tomo de coco ATELIER 児童発達支援				公表日 2026/03/05
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容や子どもの特性に応じて職員配置を調整し、個別対応が必要に応じてできるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月齢や発達段階の違いにより必要な支援量に差が出る場面があるため、どの段階のお子さんにも安定した支援が提供できるよう環境設定や職員間の連携を引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容やお子さんの様子に応じて職員の配置や役割を調整し、安心して参加できる環境づくりを心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月齢や発達段階の幅がある中で、より安定した関わりができるよう、職員同士の連携や役割分担を引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動ごとに場所を分け、お子さまが安心して過ごせる空間づくりに努めています。</li> <li>ホワイトボード等を使い、活動の流れが見通せる環境づくりを行っている。</li> <li>感覚面や集中のしづらさに配慮し、刺激量の調整や個別スペースの活用を行っている。</li> <li>視覚的な提示や声かけを組み合わせ、理解しやすい伝え方を心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月齢や発達段階の幅があるため、より多様な特性に対応できるよう環境設定を引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の清掃を心がけ、気持ちよく過ごせる環境づくりに努めています。</li> <li>日常的な清掃や消毒を行い、安心して過ごせる環境を整えている。</li> <li>活動内容に応じて空間を使い分け、必要に応じてレイアウトを調整している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材や備品の配置を見直し、よりスムーズに活動へ移行できる環境づくりを進めていきたい。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さまの状況に応じて、落ち着いて過ごせるスペースをご用意しています。</li> <li>必要に応じて個別スペースを活用し、落ち着いて過ごせる環境を整えている。</li> <li>集団が難しい場面では、無理なく個別対応に切り替えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月齢の低さや表現の難しさから気持ちのサインを十分に読み取れない場面もあるため、より早く気づけるよう観察や職員間の共有を引き続き大切にしていきたい。</li> </ul>
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援の振り返りやMTG、研修を通して、職員が気づいた点を共有し、次の支援や業務改善につなげている。</li> <li>役職に関わらず意見を出し合える雰囲気があり、現場の声を反映しながら取り組んでいる。</li> <li>意見交換が活発に行われているところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>忙しい時期には振り返りの時間が十分に取れないこともあるため、短時間でも共有できる仕組みづくりを引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向け評価表や日々のやり取りを通して、保護者の意向や気づきを把握する機会を設けている。</li> <li>いただいたご意見は職員間で共有し、支援内容や業務改善につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が思いを言葉にしづらい方もいらっしゃるため、小さな声や変化にも気づけるよう、日々の関わりをこれまで以上に大切にしていきたい。</li> </ul>

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のミーティングで気づいたことを共有し、改善につなげています。</li> <li>・MTGや研修、日々のやり取りを通して職員の意見や気づきを共有する機会を設けている。</li> <li>・現場で出た声をもとに、支援方法や業務の見直しにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数に関わらず意見を出しやすい環境が整っているため、今後もこの雰囲気大切にしながら、継続できるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部研修や関係機関からの助言を参考にし、支援や業務の見直しに活かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者からの視点を今後さらに取り入れ、支援の質向上や業務改善につなげていきたい。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修や人間性向上研修など幅広い研修を行い、職員のスキル向上に努めています。</li> <li>・外部研修への参加や法人内研修の機会があり、学びを現場の支援に活かしている。</li> <li>・研修で得た気づきを職員間で共有し、日々の支援の質向上につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の合間でも学びを深められるよう、研修内容の共有方法や振り返りの機会を引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムを作成し、ホームページ等を通して活動内容が分かるよう情報発信を行っている。</li> <li>・月ごとの活動や日々の支援は、お子さんの発達段階に合わせて柔軟に組み立てている。</li> <li>・必ず回覧をして周知されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援のねらいや意図がより伝わるよう、プログラム内容の表現や伝え方を引き続き工夫していきたい。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時には全員に初回アセスメントを行い、お子さんの状況や保護者の思いを踏まえて支援計画を作成している。</li> <li>・開所後間もないため更新アセスメントはまだ実施段階ではないが、保護者へこちらから声をかけ面談の機会を設けるなど、不安の軽減につながる関わりを大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的なアセスメントの機会を設け、より継続的に支援計画へ反映できる体制を整えていきたい。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録やMTGを通して情報をすり合わせ、共通理解のもと支援計画の作成につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多様な視点を取り入れられるよう、職員間の共有の機会を引き続き大切にしていきたい。</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいた点はその都度共有し、必要に応じて支援方法の見直しにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しい時期でも情報の抜けが出ないよう、引き続き共有の仕組みを工夫していきたい。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動や遊びの様子を通して行動観察を行い、記録や職員間の共有をもとにこどもの様子を把握している。</li> <li>・必要に応じて保護者からの聞き取りも行い、支援に反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察中心になっているため、今後は必要に応じて、研修などでより客観的に捉えられる方法についても学んでいきたい。</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの様子や保護者の思いを共有しながら、日常の支援に反映できるよう話し合いを行っている。</li> <li>・本人支援を中心に、家庭での様子も踏まえた関わりを意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援や今後の生活を見据えた視点についても、より意識的に計画や支援に落とし込めるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員で話し合いながら、子どもたちに合った活動を考えられています。</li> <li>・日々のミーティングや申し送りを通して、こどもの様子を共有しながら、チームで活動内容を相談・調整している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しい時期でも情報共有が滞らないよう、短時間でも確認できる仕組みを引き続き工夫していきたい。</li> </ul>

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事や子どもたちの興味に合わせて、活動内容を工夫しています。</li> <li>・子ども同士の関係性や発達段階を踏まえて活動内容を調整し、プログラムが固定化しないよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、職員同士でアイデアを出し合いながら、活動の幅を広げていきたい。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達段階や気持ちの動きを見ながら、集団活動と個別対応を柔軟に組み合わせ支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して取り組める関わりを大切にすることでなく、少しずつチャレンジできる活動の組み合わせを考えていきたい。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りや簡単な打ち合わせを通して、その日の支援内容や役割分担を確認し、チームで連携して支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなときでも共有が抜けないう、短時間でも確認できる形を引き続き大切にしていきたい。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後には、子どもの様子や気付いた点を職員間で共有し、次の支援に活かせるよう振り返りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が限られる日でも大切な気付きが残せるよう、簡単に共有できる工夫を続けていきたい。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援について記録を残し、こどもの変化や関わり方を職員間で共有しながら、支援の見直しにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録が作業にならないよう、気付きや支援の意図も残せるよう、今後も意識していきたい。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所後、全員に初回の支援計画を作成し、希望調査を行った上で保護者面談の時間を設けるなど、不安や困り感を早めに共有できるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後モニタリングの時期を迎えるにあたり、日々の記録や関わりをもとに、より丁寧に見直しにつなげられるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、日頃からこどもと関わっている職員が情報共有に参加し、こどもの様子が適切に伝わるよう心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、関係機関との連携の機会が増えてきた際にも、現場の視点がしっかり反映されるよう体制づくりを意識していきたい。</li> </ul>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して園と連絡を取り合い、見学や情報交換の機会を持つなど、こどもを中心とした連携を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後さらに地域の関係機関とのつながりを深め、よりスムーズな支援につなげていけるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行利用している園について、保護者を通して情報共有を行い、必要に応じて見学や意見交換の機会を持つなど、こどもが安心して過ごせる環境づくりを意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はさらに園との相互理解を深め、移行も見据えた支援が行えるよう、連携の機会を増やしていきたい。</li> </ul>
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの依頼に応じて就学支援シートの作成を行い、日頃の支援の様子や配慮点を共有できるよう対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は必要に応じて学校とも連携しながら、よりスムーズな就学移行につなげていけるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部の視点を取り入れる意識を持ち、研修などを通して支援の質を高められるよう取り組んでいる。</li> </ul>	
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して園と連絡を取り合い、見学や情報交換の機会を持つなど、少しずつ交流のきっかけづくりを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は地域の中で他のこどもと関わる機会も意識しながら、交流の幅を広げていけるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動や記録をもとに、保護者とこまめに情報を共有し、こどもの発達状況や課題について共通理解を持てるよう意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より保護者が気軽に相談できる雰囲気や共通理解をさらに深められるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談や希望を受け、日常の支援の中で情報提供や関わり方の工夫を行い、家庭での対応に活かせるようサポートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社内研修では、家族支援をテーマに予定しており、計画的に取り組むことで、家庭での対応力向上につなげていきたい。</li> </ul>
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時や必要に応じて、運営規程や支援プログラム、利用者負担について保護者に説明している。</li> <li>・オフィシャルLINEなどで、保護者がいつでも質問や確認を送りやすい環境を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より理解を深めてもらえるよう、説明のタイミングをさらに工夫していきたい。</li> </ul>

36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援計画を作成する際、保護者の希望や意向を確認する機会を設け、こどもの最善の利益を意識した支援内容を考えている。</li> <li>希望調査や日常のやり取りを通して、保護者が気軽に意見を伝えられる工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も保護者の意向やこどもの気持ちをさらに取り入れられるよう、確認のタイミングや方法を工夫していきたい。</li> </ul>
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画を保護者に示し、支援内容や日常の関わり方について書面で丁寧に説明している。</li> <li>保護者が理解しやすいよう、質問しやすい環境をオフィシャルLINEや日々の申し送り等で意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、保護者がよりイメージしやすく理解しやすい方法を整えていきたい。</li> </ul>
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常のやり取りや希望に応じて、保護者の子育ての悩みや不安に丁寧に応じ、必要に応じて助言や支援を行っている。</li> <li>面談やオフィシャルLINEを活用し、保護者が相談しやすい環境を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に相談の機会を設ける工夫をさらに進め、より幅広い悩みや不安に対応できるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、保護者会の開催や個別の情報交換の機会を通して、保護者同士やきょうだいの交流につながる場づくりを意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、保護者会の活動やきょうだい同士の交流の機会をさらに計画的に設け、家族同士で支え合える環境を広げていきたい。</li> </ul>
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもや保護者からの相談や要望に迅速に対応できるよう、日常の関わりやオフィシャルLINEを活用して体制を整えている。</li> <li>保護者が気軽に相談できることを周知し、必要なサポートや助言を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、相談内容や対応の記録をさらに整理・共有し、より迅速かつ確に対応できる仕組みを強化していきたい。</li> </ul>
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に通信を発行するとともに、HPやSNS、オフィシャルLINEを活用して、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を保護者に分かりやすく発信している。</li> <li>保護者が必要な情報をいつでも確認できるよう、発信手段の工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は発信内容の充実やタイミングをさらに工夫し、保護者にとってより分かりやすく、使いやすい情報提供を目指していきたい。</li> </ul>
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報を含む資料は、必要な部分を伏せることを意識して閲覧するよう改善している。</li> <li>閲覧後も資料を適切に管理し、漏えい防止に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後はより確実に個人情報を伏せた形で閲覧できるよう、方法や手順の工夫を進めていきたい。</li> </ul>
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のあるこどもや保護者が理解しやすいよう、支援内容や日常のやり取りの伝え方を工夫している。</li> <li>オフィシャルLINEや図示・言葉の工夫など、個々の特性に応じて情報伝達の方法を調整している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、よりわかりやすく伝わる方法を模索し、こどもや保護者との意思疎通をさらに深めていきたい。</li> </ul>
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点では地域参加型の行事は少ないが、事業所として地域に開かれた活動を意識して取り組めるよう、地域との接点づくりから行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は状況に応じて、地域に開かれた事業運営をさらに進めていきたい。</li> </ul>
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員は内容を理解し活用できる体制を整えている。</li> <li>新人研修マニュアルにも組み込むことで、新しく入った職員も早期に理解・活用できるようにしている。</li> <li>保護者には閲覧できる場所にマニュアルを置き、必要に応じて確認できる環境を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を想定した訓練も実施し、職員の対応力をさらに高めていきたい。</li> </ul>

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生時に備えた体制を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、定期的な訓練の実施や全職員への浸透を進め、より迅速かつ安全に対応できる体制を強化していきたい。</li> </ul>
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学時に、服薬状況や予防接種、てんかん発作の有無など、こどもの健康や特性に関わる情報を保護者から確認している。</li> <li>・必要に応じて情報を共有し、支援や安全管理に活かせるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、聞き漏れがないよう確認のタイミングや方法を整理し、情報収集の仕組みをさらに安定させていきたい。</li> </ul>
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのあるこどもについては、保護者から事前に聞き取りを行い、医師の指示書を基に対応している。</li> <li>・情報は一覧にまとめ、抜け漏れがないよう管理し、職員全員が共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、新しい情報の更新や職員間での確認方法を工夫し、より安全で確実な対応を継続していきたい。</li> </ul>
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画を作成し、職員が内容を理解して活用できるよう整備している。</li> <li>・必要な研修や避難訓練、感染症対応などの確認を行い、支援が安全に実施できる環境を整えている。</li> </ul>	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画に基づく取組内容について、保護者に周知している。</li> <li>・日常の面談や閲覧可能な資料を活用し、保護者が必要な情報を確認できるようにしている。</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットが発生した場合、職員間で情報を共有し、再発防止のための方策を検討している。</li> <li>・事例の内容や対応策を記録に残すことで、職員全員が学べる仕組みを整えている。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止の観点から、職員研修を定期的に実施し、対応方法や注意点について理解を深めている。</li> <li>・新人研修マニュアルにも組み込み、入職後すぐに必要な知識を身につけられるようにしている。</li> </ul>	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ず身体拘束を行う場合の方針は、職員が理解できるように共有している。</li> </ul>	